

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-312774

(P2000-312774A)

(43) 公開日 平成12年11月14日 (2000. 11. 14)

(51) Int. Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード (参考)
A 6 3 F 7/02	3 5 2	A 6 3 F 7/02	3 5 2 P 2 C 0 8 8
			3 5 2 M
5/04	5 1 2	5/04	5 1 2 S

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願2000-55319 (P2000-55319)

(22) 出願日 平成12年 3 月 1 日 (2000. 3. 1)

(31) 優先権主張番号 特願平11-52985

(32) 優先日 平成11年 3 月 1 日 (1999. 3. 1)

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 592097934

産電子工業株式会社

群馬県邑楽郡大泉町上小泉1920番地

(72) 発明者 糸田 耕一

群馬県邑楽郡大泉町上小泉1920番地 産電

子工業株式会社内

(74) 代理人 100107906

弁理士 須藤 克彦

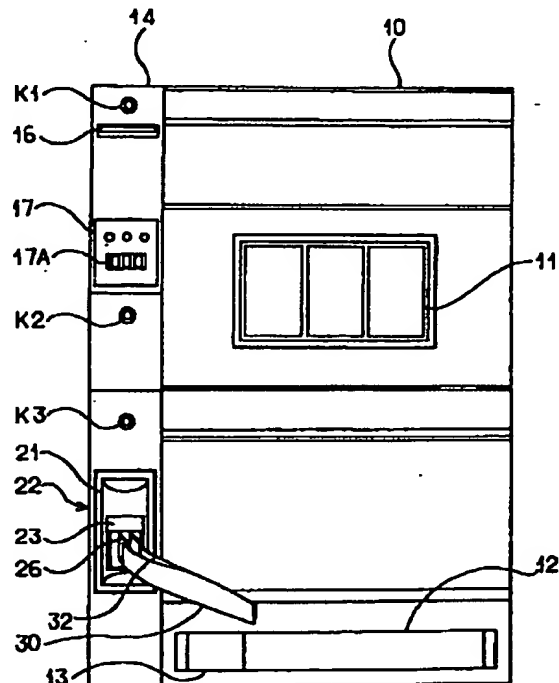
Fターム (参考) 2C088 BA88 BC71

(54) 【発明の名称】 台間メダル貸機

(57) 【要約】

【課題】 スロットマシンの左右どちらでも利用でき、且つメダルを円滑案内することができると共に大量のメダルを収納することができる台間メダル貸機を提供する。

【解決手段】 本体15にメダル収納部20を設ける。本体15内にメダル収納部20内のメダル36を払出口20Aに排出するメダル払出装置を設ける。メダル案内装置を払出口20Aに排出されたメダル36を起立させる姿勢修正手段と、起立したメダル36を傾斜を利用して転動させるメダル案内具30とで構成する。本体15に払出口20Aから遊技機のメダル受け皿12にメダル36を案内するメダル案内装置22を取り付ける。メダル案内具30を姿勢修正手段に着脱自在に係合させる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 スロットマシン等の遊技機に並設される台間メダル貸機において、本体と、この本体内に設けられたメダル収納部と、前記本体内に設けられ、前記メダル収納部内のメダルを払出口に排出するメダル払出装置と、前記本体に取り付けられ、前記払出口から前記遊技機のメダル受け皿にメダルを案内するメダル案内装置とを備え、このメダル案内装置は、前記払出口に排出されたメダルを起立させる姿勢修正手段と、起立した前記メダルを傾斜を利用して転動させるメダル案内具とから成り、このメダル案内具は前記姿勢修正手段に着脱自在に係合させたことを特徴とする台間メダル貸機。

【請求項2】 メダル案内装置は、前記メダル案内具の先端部に接続され、前記メダル受け皿方向に湾曲したメダル補助案内具を備えることを特徴とする請求項1の台間メダル貸機。

【請求項3】 姿勢修正手段は、上部開口部と、この上部開口部の少なくとも一側に設けられ、当該上部開口部を上方に開口する傾斜部を備えたことを特徴とする請求項1又は請求項2の台間メダル貸機。

【請求項4】 傾斜部は相互に対向して一対設けられると共に、各傾斜部の角度は水平に対して10度以上90度未満とされていることを特徴とする請求項3の台間メダル貸機。

【請求項5】 メダル案内具は、姿勢修正手段に着脱可能に接続されると共に折り畳むことができることを特徴とする請求項1、請求項2、請求項3又は請求項4の台間メダル貸機。

【請求項6】 スロットマシン等の遊技機に並設される台間メダル貸機において、本体と、この本体内に設けられたメダル収納部と、前記本体内に設けられ、前記メダル収納部内のメダルを払出口に排出するメダル払出装置と、前記本体に取り付けられ、前記払出口から前記遊技機のメダル受け皿にメダルを案内するメダル案内装置とを備え、このメダル案内装置は、前記払出口に排出されたメダルを起立させる姿勢修正手段と、起立した前記メダルを傾斜を利用して転動させるメダル案内具とから成り、このメダル案内具は前記姿勢修正手段に着脱自在に係合させると共に、分岐して左右両側に設けられる前記遊技機のメダル受け皿にメダルを案内するメダル分岐案内具と、前記左右何れの遊技機のメダル受け皿の方向にメダルを転動させるかを制御する制御装置とを備えたことを特徴とする台間メダル貸機。

【請求項7】 複数のメダル排出ボタンを設け、制御装置は、このメダル排出ボタンにて指定されたメダル受け皿の方向にメダルを転動させることを特徴とする請求項6の台間メダル貸機。

【請求項8】 複数のメダル排出ボタン間に仕切板を設

けたことを特徴とする請求項7の台間メダル貸機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、スロットマシンなどに並設される台間メダル貸機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より遊技機としてのスロットマシン及びパチンコ機などが設置される遊技店舗において、パチンコ遊技客にパチンコ玉を貸し出す台間玉貸機は一台のパチンコ機に対して一台の台間玉貸機が対応して設けられているが、スロットマシンでは2台に一台のメダル貸機（この場合、台間メダル貸機）が設けられており、一台の台間メダル貸機を両側の遊技客が利用していた。係る台間メダル貸機はメダル払出口に払い出されたメダルを手で取り出してスロットマシンの前面下方に設けられたメダル受け皿まで運ぶものであった。

【0003】この場合メダル貸機はスロットマシン2台に対して一台の割合で設置されていたので、一方の遊技客がメダルをメダル容器に払い出した際、他方の遊技客がメダルを借りようとしてメダルを払い出した場合、払出口には両遊技客のメダルが混在してしまう問題があると共に、メダル容器からメダル受け皿までメダルを運ぶ煩わしさがあった。

【0004】そこで、近年ではパチンコ機同様に一台のスロットマシンに一台の台間メダル貸機を設置するものが開発されてきている。この台間メダル貸機内部の面積は限られておりその中に収納されたメダルを所定量メダルホッパーから払い出していた。即ち、台間メダル貸機内にメダル収納部が設けられており、そのメダル収納部に収納されたメダルをメダルホッパーによって一つ一つ水平にメダルを排出し、水平の状態のままメダル案内具の溝内を滑らせてスロットマシンのメダル受け皿に案内していた。これによって、台間メダル貸機のメダル容器内の両遊技客のメダルの混在を防止すると共に、メダル容器からメダル受け皿までメダルを運ぶ煩わしさなどを防止していた。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の台間メダル貸機はメダルをスロットマシンのメダル受け皿に案内するために設けられたメダル払出装置の構造上、メダルを水平状態でメダル案内具の溝内を滑らせてメダル受け皿まで案内していたが、メダルは水平のためメダル案内具の溝との摩擦が大きく、これによってメダル案内具の溝内を滑り難かった。そこで、メダル案内具の溝を急勾配にしてスロットマシンのメダル受け皿にメダルを案内していたが、メダル案内具の溝を急勾配にすると、メダル収納部を上方に設置しなくてはならず、メダル収納部が狭くなってメダル収納部に収納されるメダル数量が少なくなってしまう問題があった。

【0006】また、スロットマシンの形態として前面下

方が手前に突出しているため、台間メダル貸機に取り付けられたメダル案内具は左側に湾曲したものが用いられていた。このため、台間メダル貸機はスロットマシンの右側にしか取り付けられない問題があった。

【0007】また、メダルを水平にした状態で案内具の溝内を滑らせているため、メダル幅より溝の幅を狭くできなかった。このため、メダル案内具がスロットマシンより大幅に手前に突出して、遊技客の邪魔になってしまう問題もあった。

【0008】本発明は、係る従来技術の課題を解決するために成されたものであり、スロットマシンの左右どちらからでも利用でき、且つ、メダルを円滑案内することができると共に大量のメダルを収納することができる台間メダル貸機を提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】即ち、請求項1の発明の台間メダル貸機は、スロットマシン等の遊技機に並設される台間メダル貸機において、本体と、この本体内に設けられたメダル収納部と、本体内に設けられ、メダル収納部内のメダルを払出口に排出するメダル払出装置と、本体に取り付けられ、払出口から遊技機のメダル受け皿にメダルを案内するメダル案内装置とを備え、このメダル案内装置は、払出口に排出されたメダルを起立させる姿勢修正手段と、起立したメダルを傾斜を利用して転動させるメダル案内具とから成り、このメダル案内具は姿勢修正手段に着脱自在に係合させたものである。

【0010】また、請求項2の発明の台間メダル貸機は、上記に加えて、メダル案内具の先端部に接続され、メダル受け皿方向に湾曲したメダル補助案内具を備えたものである。

【0011】また、請求項3の発明の台間メダル貸機は、請求項1又は請求項2に加えて、姿勢修正手段は、上部開口部と、この上部開口部の少なくとも一側に設けられ、当該上部開口部を上方に開口する傾斜部を備えたものである。

【0012】また、請求項4の発明の台間メダル貸機は、請求項3に加えて、傾斜部は相互に対向して一対設けられると共に、各傾斜部の角度は水平に対して10度以上90度未満とされているものである。

【0013】また、請求項5の発明の台間メダル貸機は、請求項1、請求項2、請求項3又は請求項4に加えて、メダル案内具は、姿勢修正手段に着脱可能に接続されると共に折り畳むことができるものである。

【0014】また、請求項6の発明の台間メダル貸機は、スロットマシン等の遊技機に並設される台間メダル貸機において、本体と、この本体内に設けられたメダル収納部と、本体内に設けられ、メダル収納部内のメダルを払出口に排出するメダル払出装置と、本体に取り付けられ、払出口から遊技機のメダル受け皿にメダルを案内するメダル案内装置とを備え、このメダル案内装置は、

払出口に排出されたメダルを起立させる姿勢修正手段と、起立したメダルを傾斜を利用して転動させるメダル案内具とから成り、このメダル案内具は姿勢修正手段に着脱自在に係合させると共に、分岐して左右両側に設けられる遊技機のメダル受け皿にメダルを案内するメダル分岐案内具と、左右何れの遊技機のメダル受け皿の方向にメダルを転動させるかを制御する制御装置とを備えたものである。

【0015】また、請求項7の発明の台間メダル貸機は、請求項6に加えて、複数のメダル排出ボタンを設け、制御装置は、このメダル排出ボタンにて指定されたメダル受け皿の方向にメダルを転動させるものである。

【0016】また、請求項8の発明の台間メダル貸機は、請求項7に加えて、複数のメダル排出ボタン間に仕切板を設けたものである。

【0017】

【発明の実施の形態】次に、図面に基づき本発明の実施形態を詳述する。図1は本発明の台間メダル貸機14（右側に湾曲したメダル案内具30を備えた台間メダル貸機14）を左側に並設したスロットマシン10の正面図、図2は本発明の台間メダル貸機14の内部を示す側面図、図3はメダル案内具30を除くメダル案内装置22の正面図をそれぞれ示している。尚、各図において同一符号で示すものは同一とする。台間メダル貸機14はスロットマシン10などで使用するメダル36を多数収納して遊技客に貸し出すもので、スロットマシン10毎に並設されている。

【0018】この台間メダル貸機14の本体15は高さ約810mm、幅約100mm、奥行き約240mmで縦長略矩形状を呈しており、前面上方に金銭を投入してメダル36を借りるための紙幣投入口16が設けられている。紙幣投入口16の下方には、貸し出すメダル36の数量などを表示する7セグメントのLED17Aが複数（この場合3個）並列に設けられた表示板17が設けられると共に、表示板17の下方にはメダル案内装置22が設けられている。

【0019】紙幣投入口16の本体15内部には紙幣識別装置16Aが設けられている。この紙幣識別装置16Aは紙幣投入口16から投入された紙幣が真（本物の紙幣）の場合、投入された紙幣に相当するメダル36をメダル払出装置から排出する。また、紙幣投入口16から投入された紙幣が偽（偽紙幣）の場合、投入された紙幣は、そのまま紙幣投入口16に戻す。尚、紙幣識別装置16Aによって紙幣の真偽を行なう技術については、周知の技術であるため説明を省略する。

【0020】前記メダル案内装置22の本体15内部にはメダル払出装置としてのホッパー18が設けられており、ホッパー18の上部には後述するメダル起立具23上方に連通する払出口20Aが設けられたメダル収納部20が設けられている。ホッパー18は、メダル収納部

20内に収納されたメダル36を払出口20Aから一枚一枚水平の状態でメダル案内装置22に排出するものである。尚、ホッパー18によってメダル収納部20内に収納されたメダル36を一枚一枚順次払出口20Aに排出する技術については、周知の技術であるため説明を省略する。また、K1は投入された紙幣を回収するための錠、K2はメダル収納部20にメダル36を補充するための錠、K3はメダル収納部20のメンテナンスを行なうための錠、19は制御装置である。

【0021】係るメダル案内装置22は姿勢修正手段とメダル案内具30とから構成されており、姿勢修正手段はメダル起立具23とこのメダル起立具23を覆う収納ケース21とから構成され、収納ケース21はメダル起立具23を収納した状態で台間メダル貸機14の本体15前面に取り付けられるように構成されている。また、メダル案内装置22は上記の姿勢修正手段とメダル案内具30に加えて、メダル案内具30の先端部に接続される後述のメダル補助案内具50を備えることが可能である。メダル起立具23は払出口20Aより水平に排出されたメダル36を起立させるためのもので、所定の長さの円柱形で上部に開口部45が形成され、この開口部45の両側に相互に所定の角度で対向する一対の傾斜部24が形成されている(図4)。

【0022】両傾斜部24、24は図5に示す如き上方を拡開したV字状に形成されており、各傾斜部24は水平に対して10度以上90度未満の角度、好ましくは40度〜50度の角度で形成されている。即ち、両傾斜部24、24は上方を80度〜100度で拡開する角度にて形成されている(図5矢印範囲)。また、両傾斜部24、24の下端から下方に延在して所定の幅、所定の深さの溝25が形成されている。

【0023】また、メダル起立具23は、収納ケース21内に収納された状態で開口部45上部と収納ケース21間に所定の空間が形成され、その空間は払出口20Aに連通されている。また、溝25は起立した状態のメダル36が容易に入る幅に形成されると共に、一枚のメダル36が倒れない幅に形成されている。そして、溝25の一端には溝25に連続して取付け部26が延在して設けられており、溝25の底壁は25Aは傾斜部24下方から取付け部26先端まで傾斜部24側を高く取付け部26側を低くした所定の傾斜に形成されている(図6、図7)。

【0024】前記傾斜部24の上縁はメダル36が水平に入る大きさを呈しており、払出口20Aより払い出されたメダル36が傾斜部に落下すると、メダル36のどちらか一方が傾斜部24当接して他方が自重により溝25内に落下し、これによって、メダル36が起立するように構成されている。(図8)。そして、溝25内にメダル36が落下するとメダルは起立したまま取付け部26側に転動して行くように構成されている。

【0025】また、取付け部26の先端近傍両側には後述するメダル案内具30を取り付けるための一対の支持ピン27と、一対の位置決めピン28が設けられている。支持ピン27は取付け部26の略中央に位置して設けられて後述するメダル案内具30の側壁31の厚さより少許長く構成されると共に、位置決めピン28の長さは側壁31の厚さより短く構成され先端を半球状に形成されている。この位置決めピン28は支持ピン27と所定の間隔を存して上方に設けられ、位置決めピン28と支持ピン27には後述するメダル案内装置22が着脱自在に係合できるように構成されている。

【0026】また、メダル起立具23の下面中央には可動ピン29が下方に突出して設けられており、この可動ピン29は所定の径、所定の長さ形成されている。収納ケース21前面には所定の大きさの開口21Aが設けられており、メダル起立具23の取付け部26はこの開口21Aの外側に位置して収納ケース21内に収納されると共に、取付け部26は開口21A内側を左右に所定距離動くように構成されている。

【0027】また、収納ケース21内の底部には図示しない挿入孔が設けられており、この挿入孔にメダル起立具23の下面中央に設けた可動ピン29が挿入できるように構成されている。そして、収納ケース21内にメダル起立具23が収納され、可動ピン29が収納ケース21に設けられた挿入孔に挿入された状態で、メダル起立具23は可動ピン29を中心に左右に回転するように構成されている。尚、メダル起立具23は収納ケース21後面側から挿入される。

【0028】また、メダル案内具30は所定の長さを呈しており、メダル起立具23に設けられた取付け部26に係合され、メダル起立具23で起立したメダル36をスロットマシン10の前面下方に設けられたメダル受け皿12に案内するように構成されている。尚、11はドラム、13は灰皿である。係るメダル案内具30は、メダル起立具23の取付け部26に係合されて少許前方に延在した後、右側に湾曲してメダル受け皿12上方まで延在する形状を呈している。このメダル案内具30にはメダル36を転動できる案内溝32が形成されており、このメダル案内溝32は上方を開口してメダル案内具30の長手方向に形成されている。

【0029】また、メダル補助案内具50は、メダル案内具30の直線的に延びた先端部に着脱自在に接続され、メダル案内具30の先端から延在した形状を呈している。このメダル補助案内具50には、メダル36を転動できる補助案内溝51が形成されており、このメダル補助案内溝51は上方を開口してメダル案内具50の長手方向に形成されている。ここで、メダル補助案内溝51の両側には側壁52、53が設けられているが、一方の側壁52の先端部は右側(メダル受け皿12の方向若しくはスロットマシン10の前面方向)に湾曲してい

る。メダル補助案内具50のメダル補助案内溝51もその先端部が右側に湾曲している。従って、かかるメダル補助案内具50をメダル案内具30の先端部に接続した場合には、メダル36の転動速度が減速されると共にメダル受け皿12の方向にカーブしながら落下するため、メダル36を更に確実にメダル受け皿12の内に案内することができると共に、メダル36がメダル受け皿12から飛び出してしまうのを防止することができる(図9)。

【0030】メダル案内具30の案内溝32の両側に設けられた側壁31には支持孔33、第1位置決め孔34、第2位置決め孔35がそれぞれ一対設けられている。支持孔33はメダル案内具30の一端から所定距離内側の略中央に設けられると共に、第1位置決め孔34は支持孔33と所定の間隔を存して上方に設けられ、第2位置決め孔35は支持孔33と所定の間隔を存して側方に設けられている。この場合、第1位置決め孔34と、第2位置決め孔35とは支持孔33を中心にして所定の円周線上に設けられている。

【0031】また、メダル案内具30の先端部の側壁31には一対の支持ピン37が設けられている(一方の支持ピン37は不図示)。また、メダル補助案内具50の補助案内溝51の両側に設けられた側壁52、53にはメダル補助案内具50の長手方向に沿って所定間隔をもって複数の第1の支持孔54が設けられている(図10)。

【0032】係る、メダル案内具30の支持孔33がメダル起立具23の取付け部26に設けられた支持ピン27に、第1位置決め孔34と第2位置決め孔35は位置決めピン28に係合可能に構成されている。そして、支持孔33がメダル起立具23の取付け部26に設けられた支持ピン27に係合され、第1位置決め孔34が位置決めピン28に係合された状態で、メダル案内具30は緩やかな傾斜でスロットマシン10の前面下方に設けられたメダル受け皿12少許上方まで延在する。即ち、メダル案内具30は収納ケース21内に設けられたメダル起立具23の取付け部26に係合された状態で、メダル案内溝32は取付け部26からメダル受け皿12までメダル36が容易に転動できる所定の緩やかな傾斜に構成されている(図11)。

【0033】また、図11において、メダル案内具30の先端部にメダル補助案内具50が接続された状態が図示されている。ここで、メダル補助案内具50の複数の支持孔54の中から、1つの支持孔54がメダル案内具30の先端部に設けられた一対の支持ピン37に係合される。すなわち、複数の支持孔54のうちいずれか1つが選択されることにより、メダル案内具30の先端から延長された補助案内溝51の長さを調節し、メダル36をメダル受け皿12の中の所定位置に案内することができるよう構成されている。

【0034】以上の構成で次ぎに台間メダル貸機14の使用例を説明する。スロットマシン10に隣接して台間メダル貸機14が並設(この場合スロットマシン10の左側)されており、紙幣識別装置16A、LED17A、ホッパー18は制御装置19に接続されると共に、これらは図示しない商用電源に接続され動作状態にあるものとする。遊技客が使用するスロットマシン10を決定したら、台間メダル貸機14の紙幣投入口16に所定の金額(この場合1000円)の紙幣を一枚挿入する。

【0035】そして、紙幣投入口16から紙幣が挿入された紙幣は、紙幣識別装置16Aで真偽が判定され、投入された紙幣が真の場合、投入された紙幣の金額に相当するメダル36の数量をLED17Aに表示する。そして、制御装置19はホッパー18を制御してメダル収納部20に収納されたメダル36を水平の状態で一枚一枚払出口20Aから排出すると共に所定数量排出する。

【0036】払出口20Aより排出されたメダル36は収納ケース21内に設けられたメダル起立具23の傾斜部24上に順次落下し、落下したメダル36は傾斜部24によって順次起立して溝25内に落下する。溝25内に落下したメダル36は転動してメダル案内具30に設けられた案内溝32内を更に転動してスロットマシン10の前面下方に設けられたメダル受け皿12内に案内される。これによって、遊技客は容易にスロットマシン10の遊技を楽しむことができる。

【0037】ここで、メダル案内具30の先端にメダル補助案内具50を接続することにより、メダル案内具30の案内溝32を転動して来るメダル36は、より確実にメダル受け皿12内の所定位置に案内されるように調節される。すなわち、メダル補助案内具50の側壁52の先端部は右側に湾曲しているため、メダル36はこの右側に湾曲した側壁52の先端部に接触して転動方向が右側(メダル受け皿12若しくはスロットマシン10の前面側)に調整された後にメダル受け皿12内へカーブしながら落下する。また、メダル36が湾曲した側壁52との接触することによりその転動速度が減速されて落下する。このため、メダル受け皿12に案内されたメダル36が過度に回転してメダル受け皿12から飛び出すことが防止される。

【0038】ここで、スロットマシン10のメンテナンスを行なう場合、まず、メダル案内具30の先端上方を持ち上げて折り畳む。この場合、メダル案内具30の側壁31に設けられた支持孔33はメダル起立具23の取付け部26に設けられた支持ピン27に係合され、第1位置決め孔34は側壁31の厚さより短く先端を半球状に形成された位置決めピン28に係合されているので、第1位置決め孔34は容易に位置決めピン28から離脱し、支持ピン27を中心にメダル案内具30は容易に先端を持ち上げることができる。

【0039】そして、メダル案内具30が略垂直まで持

ち上げられると、第1位置決め孔34と円周上に設けられた第2位置決め孔35が位置決めピン28に係合され、メダル案内具30は先端が持ち上げられ折り畳まれた状態で保持される(図12)。そして、メダル案内具30が上方に折り畳まれた状態で、メダル案内具30をスロットマシン10より離間する方向に動作すると、メダル案内具30に係合されたメダル起立具23は可動ピン8を中心に左に回転を行なう。これによって、スロットマシン10の前面下方に設けられたメダル受け皿12上方まで延在させたメダル案内具30は、スロットマシン10前面より確実に待避される。スロットマシン10の前面を開閉してメンテナンスを行なうことができる。

【0040】このように、メダル起立具23の上部に傾斜を有した傾斜部24を形成しているので、メダル起立具23上に落下したメダル36を傾斜部24で起立させることが可能となる。これにより、メダル収納部20に収納され、ホッパー18により水平に排出されたメダル36を起立させることができるようになる。

【0041】また、メダル起立具23でメダル36を起立させた状態でメダル受け皿12まで案内するメダル案内具30を設けており、このメダル案内具30をメダル36が容易に回転する緩やかな傾斜でスロットマシン10の前面下方に設けられたメダル受け皿12少許上方に位置させている。これにより、メダル起立具23で起立したメダル36を殆ど摩擦抵抗のない状態でスロットマシン10のメダル受け皿12まで案内させることができるようになる。

【0042】次に、台間メダル貸機14の他の使用例を図14に説明する。この場合、前述のメダル案内具30と反対側となる左側に湾曲させたメダル案内具30Aが用いられる。そして、左側に湾曲させたメダル案内具30Aが台間メダル貸機14に設けられたメダル起立具23の取付け部26に係合される。また、メダル案内具30Aの先端部には着脱可能なメダル補助案内具50Aに係合される。この場合、メダル補助案内具50Aの一方の側壁52は左側に湾曲している。(図13)。これにより、スロットマシン10のメダル受け皿12に、右側に設けられた台間メダル貸機14からメダル36を案内することができるようになる。

【0043】また、図15に他のメダル案内具を備えたメダル案内装置22を示している。この場合、収納ケース21内にはメダル起立具44が収納されており、このメダル起立具44にはメダル起立具44を左右に回転することができる駆動モータ等を有した駆動装置43が設けられている(図16)。また、収納ケース21にはメダル起立具23の取付け部26同様の取付け部46が左右所定方向に分かれて二つ設けられており、この取付け部46にメダル案内具としてのメダル分岐案内具40が取り付けられている。このメダル分岐案内具40は前記二つのメダル案内具30、30Aを合わせた形状を呈し

ており、収納ケース21の前側から左右のスロットマシン10に設けられたメダル受け皿12上方までそれぞれ延在している。

【0044】また、台間メダル貸機14の紙幣投入口16とLED17Aの間には二つのメダル排出ボタン41を左右に並設している。これら両メダル排出ボタン41は、遊技客にメダル36を貸し出すもので、紙幣投入口16に紙幣が投入された後メダル排出ボタン41を押すとメダル収納部20からメダル36が排出されるように構成されている。

【0045】また、両メダル排出ボタン41の間には所定の高さ、所定の厚さの仕切板42が設けられている。この仕切板42が両メダル排出ボタン41の間に設けられることにより、台間メダル貸機14の右側のスロットマシン10を遊戯する遊技客からは仕切板42の左側のメダル排出ボタン41を容易に操作できないように構成されると共に、台間メダル貸機14の左側のスロットマシン10を遊戯する遊技客からは仕切板42の右側のメダル排出ボタン41を容易に操作できないように構成されている。

【0046】そして、仕切板42の左側のメダル排出ボタン41が押されると、駆動装置43によってメダル起立具44が左に回転して、メダル起立具44に形成された溝45と左側に延在させたメダル分岐案内具40の案内溝40Aとを連通させるように構成されている(図17)。仕切板42の右側のメダル排出ボタン41が押されると、駆動装置43によってメダル起立具44が右に回転して、メダル起立具44に形成された溝45と右側に延在させたメダル分岐案内具40の案内溝40Aとを連通するように構成されている(図18)。他前述同様に構成されている。

【0047】そして、紙幣投入口16に紙幣が投入され、仕切板42のどちらか一方(この場合左側)のメダル排出ボタン41が押されると、制御装置19は駆動装置43を駆動してメダル起立具44が左に回転し、メダル収納部20に収納され、ホッパー18により水平に排出されたメダル36はメダル起立具44にて起立した後、溝25から左側に延在させたメダル分岐案内具40の案内溝32を転動して左側のスロットマシン10のメダル受け皿12内に案内される。また、仕切板42のどちらか一方(この場合右側)のメダル排出ボタン41が押されると、制御装置19は駆動装置43を駆動してメダル起立具44が右に回転し、メダル収納部20に収納され、ホッパー18により水平に排出されたメダル36はメダル起立具44にて起立した後、溝25から左側に延在させたメダル分岐案内具40の案内溝32に転動して右側のスロットマシン10のメダル受け皿12内に案内される。

【0048】このように、起立したメダル36を分岐して左右両側に設けられたスロットマシン10のメダル受

10

20

30

40

50

け皿12にメダル36を案内するメダル分岐案内具40を設けると共に、台間メダル貸機14の左右何れのスロットマシン10のメダル受け皿12にメダル36を転動させるかを制御する制御装置19とを備えている。また、複数のメダル排出ボタン41を設け、制御装置19はこのメダル排出ボタン41にて指定されたメダル受け皿12の方向にメダル36を転動させるようにしているので、排出されたメダル36を確実に指定されたメダル受け皿12に案内することが可能となる。これにより、例えば台間メダル貸機14の左右どちらか一方のスロットマシン10で遊技する遊技客が遊技客側のメダル排出ボタン41を押すことにより遊技客側のメダル受け皿12にメダル36を排出することができるようになる。

【0049】また、両メダル排出ボタン41間に所定の仕切板42を設けているので、仕切板42の遠方のメダル排出ボタン41を操作し難くすることができる。これにより、仕切板42の遊技客側のメダル排出ボタン41だけを操作することが可能となり、メダル排出ボタン41操作の信頼性を大幅に向上することができるようになる。

【0050】また、実施例では遊技機をスロットマシン10で説明したが、これに限らず、メダル36を使用する他の遊技機等に台間メダル貸機14を並設しても本発明は有効である。

【0051】

【発明の効果】以上詳述した如く請求項1の発明によれば、本体と、この本体内に設けられたメダル収納部と、本体内に設けられ、メダル収納部内のメダルを払出口に排出するメダル払出装と、本体に取り付けられ、払出口から遊技機のメダル受け皿にメダルを案内するメダル案内装置とを備え、このメダル案内装置は、払出口に排出されたメダルを起立させる姿勢修正手段と、起立したメダルを傾斜を利用して転動させるメダル案内具とから成り、このメダル案内具は姿勢修正手段に着脱自在に係合させているので、メダル払出装より排出されたメダルを姿勢修正手段によって起立させた状態で転動させて、メダル案内具をメダル受け皿まで案内することが可能となる。これにより、メダル案内具のメダルの移動を殆ど摩擦抵抗のない状態で例えばスロットマシン等の遊技機のメダル受け皿まで案内することが可能となる。従って、緩やかな傾斜のメダル案内具でもメダル受け皿にメダルを案内することができるようになるものである。

【0052】特に、メダル案内具内をメダルを転動させて、メダルの摩擦抵抗を少なくしているので、メダル案内具を緩やかな勾配にすることができ、メダル収納部を低い位置に設けることができる。これにより、メダル収納部の上方のスペースを広くできるので、メダル収納部に従来より大量のメダルを収納することが可能となると共に、メダル収納部へのメダル供給回数を減少させることができる。従って、メダル供給作業を削減でき大幅に

利便性を向上させることができるようになるものである。

【0053】また、例えば右側に湾曲させたメダル案内具、及び、左側に湾曲させたメダル案内具を設けておけば、例えばスロットマシン等の遊技機の左側、或いは、遊技機の右側に設置した台間メダル貸機からメダル受け皿にメダルを案内することが可能となる。従って、遊技店舗のレイアウトを自由に変えられ実用効果大なるものである。

10 【0054】また、請求項2の発明によれば、上記に加えて、メダル案内装置は、メダル案内具の先端部に接続され、メダル受け皿方向に湾曲した補助案内溝を設けたメダル補助案内具を備えているので、台間メダル貸機からメダル受け皿にメダルをより確実に案内することが可能となると共に、メダルが過度に回転してメダル受け皿から飛び出してしまうことが防止される。

20 【0055】また、請求項3の発明によれば、上記に加えて、姿勢修正手段は、上部開口部と、この上部開口部の少なくとも一侧に設けられ、当該上部開口部を上方に開口する傾斜部を備えているので、メダル収納部より排出されたメダル周縁を開口部内の傾斜部に当接させて姿勢を修正することが可能となる。これにより、傾斜部に当接させたメダルの反対側を自重で落下させ、メダルを起立させることができるようになる。従って、簡単な構造でメダルを起立させることができ、大幅に製造経費を低減させることができるようになるものである。

30 【0056】また、請求項4の発明の台間メダル貸機は、請求項2に加えて、傾斜部は相互に対向して一対設けられると共に、各傾斜部の角度は水平に対して10度以上90度未満とされているので、メダルが水平のままの状態を回避することが可能となる。これにより、メダルの姿勢を修正することが可能となる。従って、傾斜部でメダルが停止してしまうのを極めて容易に阻止することができるようになるものである。

40 【0057】また、請求項5の発明によれば、請求項1、請求項2、請求項3又は請求項4に加えて、メダル案内具は、姿勢修正手段に着脱可能に接続されると共に上方に折り畳むことができるので、メダル案内具を折り畳んで遊技機の前より待避させておくことが可能となる。これにより、メダル案内具が邪魔にならずに遊技機のメンテナンス等を行なうことができるようになる。従って、台間メダル貸機の利便性を大幅に向上させることができるようになるものである。

50 【0058】特に、メダル案内具を着脱可能としているので、メダル案内具が破損してしまった場合など容易に交換することができる。これにより、例えば台間メダル貸機の両側に設置されたスロットマシン等の遊技機のメダル受け皿まで案内できる左曲がり、右曲がりのメダル案内具を2種類用意しておけば、左右どちら側に設けられたメダル受け皿にでもメダルを案内することが可能と

なる。従って、遊技店舗のレイアウトを自由に行なうことができ、極めて台間メダル貸機の利便性を向上させることができるようになるものである。

【0059】また、請求項6の発明によれば、本体と、この本体内に設けられたメダル収納部と、本体内に設けられ、メダル収納部内のメダルを払出口に排出するメダル払出装置と、本体に取り付けられ、払出口から遊技機のメダル受け皿にメダルを案内するメダル案内装置とを備え、このメダル案内装置は、払出口に排出されたメダルを起立させる姿勢修正手段と、起立したメダルを傾斜を利用して転動させるメダル案内具とから成り、このメダル案内具は姿勢修正手段に着脱自在に係合させると共に、分岐して左右両側に設けられる遊技機のメダル受け皿にメダルを案内するメダル分岐案内具と、左右何れの遊技機のメダル受け皿の方向にメダルを転動させるかを制御する制御装置とを備えているので、分岐させたメダルを台間メダル貸機の両側に設置されたスロットマシン等の遊技機のメダル受け皿に案内することができるようになる。これにより、各遊技機毎に台間メダル貸機を設置する場合に比して台間メダル貸機の設置台数を減少させることができる。従って、限られた店舗内を有効に利用することができるようになり、極めて、実用効果大なるものである。

【0060】更に、請求項7の発明によれば、請求項6に加えて、複数のメダル排出ボタンを設け、制御装置は、このメダル排出ボタンにて指定されたメダル受け皿の方向にメダルを転動させるようにしているので、メダル排出ボタン押すことによりメダルを指定したメダル受け皿に案内することが可能となる。これにより、例えば台間メダル貸機のどちらか一侧に座っている遊技客が所定のメダル排出ボタンを押すだけで遊技客の前に位置するメダル受け皿にメダルを案内させることができるようになる。従って、一台の台間メダル貸機を極めて有効に使用することができ、台間メダル貸機の利用率を大幅に向上させることができるようになるものである。

【0061】更にまた、請求項8の発明によれば、請求項7に加えて、複数のメダル排出ボタン間に仕切板を設けているので、仕切板より遠方のメダル排出ボタンを操作し難くさせることが可能となる。これにより、遊技客に仕切板より手前のメダル排出ボタンだけを操作させることができ、台間メダル貸機の左右どちらか一方のスロットマシン等の遊技機で遊技する遊技客が仕切板の遊技客側のメダル排出ボタンを押すことにより遊技客側のメダル受け皿にメダルを排出することができるようになる。従って、メダル排出ボタンの押し間違いを確実に防止することが可能となり、メダル排出ボタン操作の信頼性を大幅に向上させることができるようになるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の台間メダル貸機（右側に湾曲したメダ

ル案内具を備えた台間メダル貸機）を左側に並設したスロットマシンの正面図である。

【図2】本発明の台間メダル貸機の内部を示す側面図である。

【図3】メダル案内具を除くメダル案内装置の正面図である。

【図4】メダル起立具の正面図である。

【図5】図4の縦断正面図である。

【図6】メダル案内装置の側面図である。

【図7】図6の上面図である。

【図8】メダルが起立する状態を示すメダル起立具の縦断正面図である。

【図9】右側に湾曲したメダル案内具、メダル補助案内具が設けられたメダル案内装置の上面図である。

【図10】メダル案内具、メダル補助案内具の斜視図である。

【図11】図9の側面図である。

【図12】メダル案内具を上方に折り畳んだ状態を示すメダル案内装置の側面図である。

【図13】左側に湾曲したメダル案内具、メダル補助案内具が設けられたメダル案内装置の上面図である。

【図14】台間メダル貸機（左側に湾曲したメダル案内具を備えた台間メダル貸機）右側に並設したスロットマシンの正面図である。

【図15】2台のスロットマシン間に並設されたメダルを左右に分岐するメダル分岐案内具及び、複数のメダル排出ボタン間に仕切板を備えた台間メダル貸機の正面図である。

【図16】図15の台間メダル貸機の内部を示す側面図である。

【図17】左側のメダル分岐案内具にメダルを案内する状態を示すメダル案内装置の上面図である。

【図18】右側のメダル分岐案内具にメダルを案内する状態を示すメダル案内装置の上面図である。

【符号の説明】

- 10 スロットマシン
- 12 メダル受け皿
- 14 台間メダル貸機
- 15 本体
- 16 紙幣投入口
- 17 表示板
- 17A LED
- 18 ホッパー
- 19 制御装置
- 20 メダル収納部
- 20A 払出口
- 21 収納ケース
- 22 メダル案内装置
- 23 メダル起立具
- 24 傾斜部

15

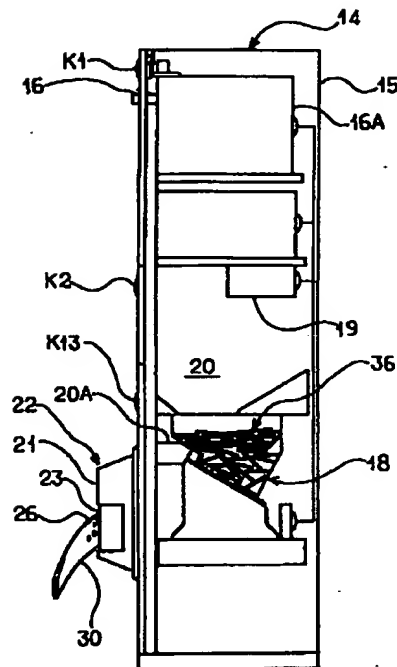
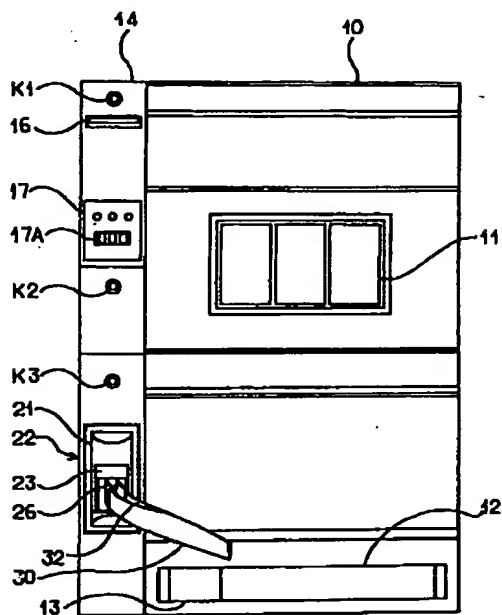
16

- 25 溝
- 26 取付け部
- 27 支持ピン
- 28 位置決めピン
- 29 可動ピン
- 30 メダル案内具
- 32 案内溝
- 33 支持孔

- 34 第1位置決め孔
- 35 第2位置決め孔
- 36 メダル
- 37 支持ピン
- 45 開口部
- 50 メダル補助案内具
- 51 補助案内溝
- 54 支持孔

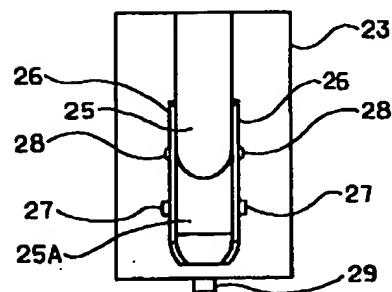
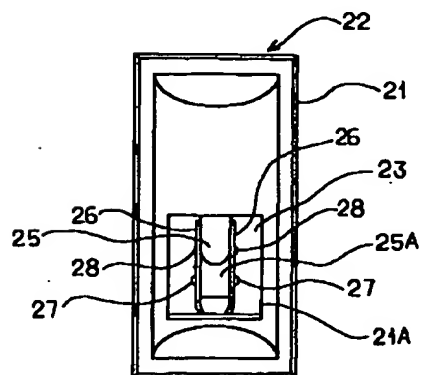
【図1】

【図2】

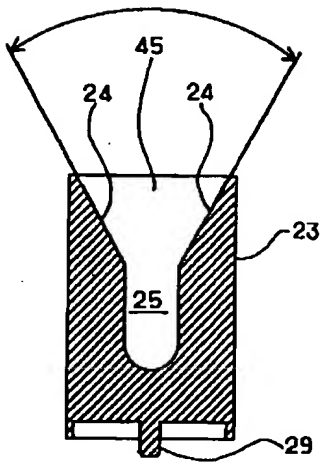


【図3】

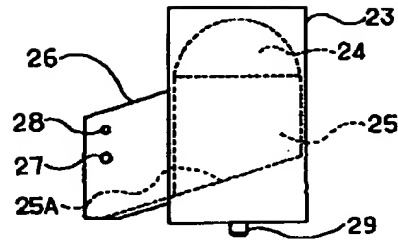
【図4】



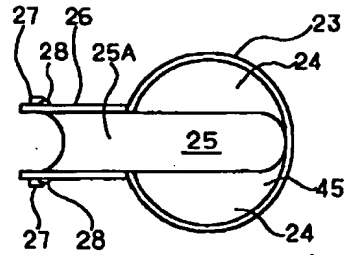
【図5】



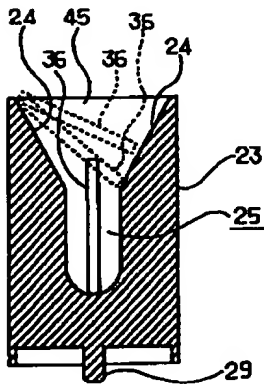
【図6】



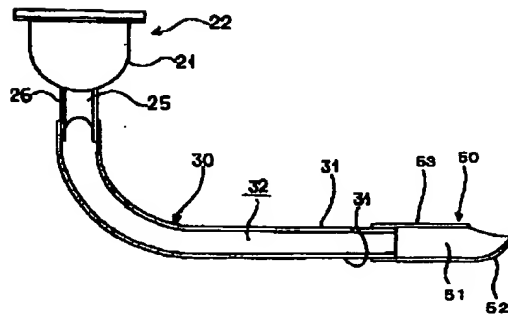
【図7】



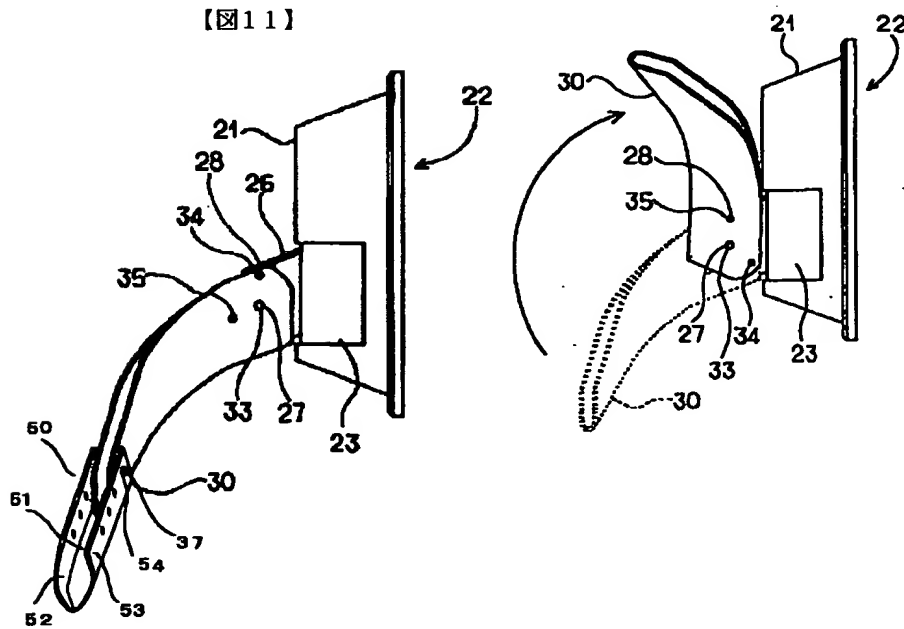
【図8】



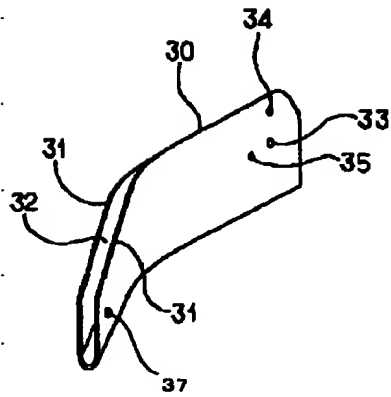
【図9】



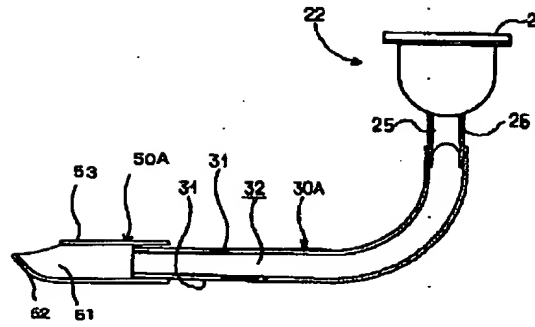
【図12】



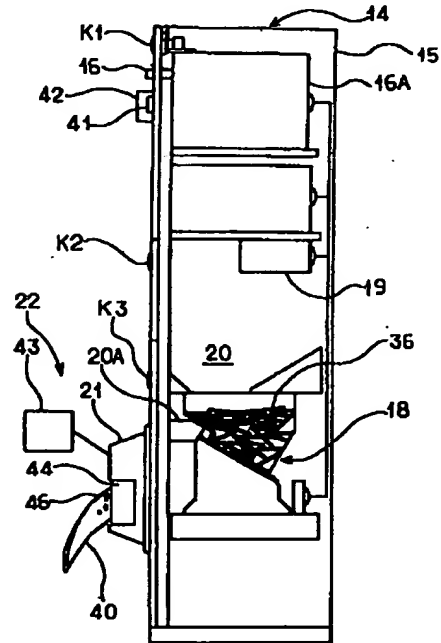
【図10】



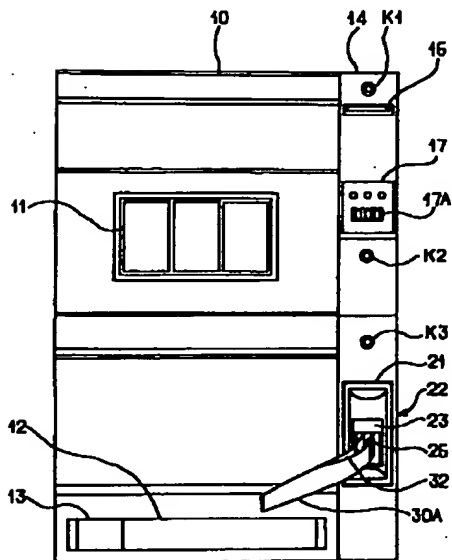
【図13】



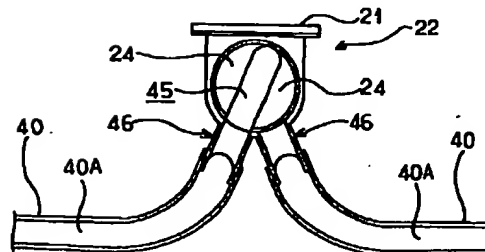
【図16】



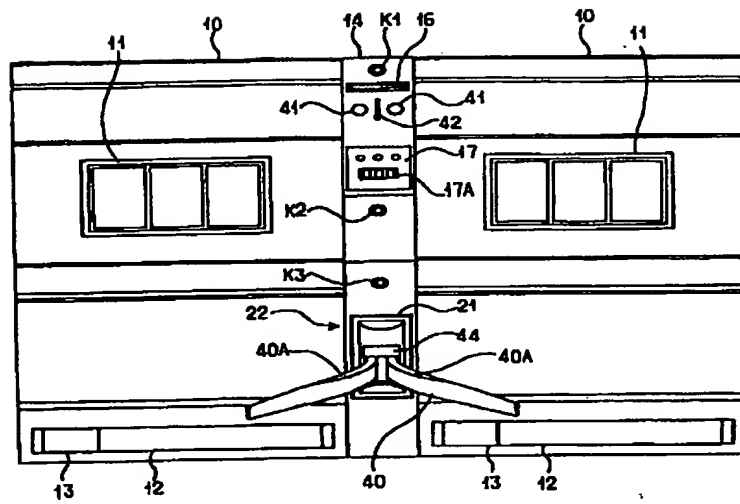
【図14】



【図17】



【図15】



【図18】

